

赤外線画像から、コンクリートの損傷部を自動検出。

# ソフト 損傷判定支援ソフト

特許第5028681号

構造物の内診に、  
道具や時間は要りません。

- 1 撮影された熱画像からコンクリートの浮きや剥離部を自動検出。
- 2 浮きや剥離部の損傷状態を3段階に自動で分類。
- 3 判定の個人差や損傷部の見落としを排除。
- 4 検出されたデータ画像を表計算ソフトなどに添付でき、報告書作成をサポート。



## 赤外線画像から損傷箇所を自動検出。 損傷レベルを3段階に分けて細部まで表示します。

コンクリート内部の次世代調査システムである赤外線調査システムをより信頼性の高い調査にするのがJソフトです。赤外線撮影した画像を自動で解析し、損傷レベルを3段階に分けて表示し、ソフトによる客観的な解析が可能のため、バラツキや見落としが防止できます。さらに、熱画像や解析画像が、表計算ソフトやワープロソフトなどに簡単に貼り付けられるため、調査報告書などの作成にも役立ちます。

POINT

**Jソフトは、大量のデータ解析が可能。  
損傷を客観的に判断し、バラツキや見落としを防止します。**

Jソフトによる調査結果

損傷レベルを  
3段階に判定

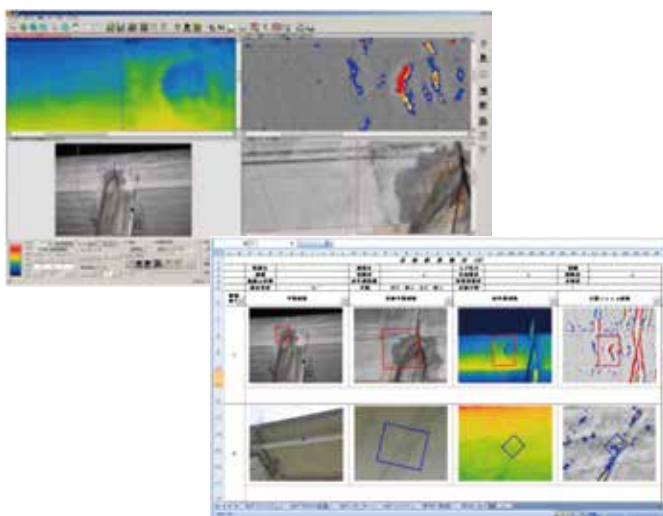


損傷判定の実施で  
要注意部分のみに  
打音箇所を限定(経済的)

■ 要注意  
■ 注意  
■ 観察

POINT

**Jソフトの熱画像・解析画像を  
エクセルなどへ簡単に添付でき、報告書作成もラクラク。**



【稼働環境】

- OS: Windows7 / Windows10 64bit版
- ハードウェア: Intel Core i5 以上推奨
- メモリー: 2GB以上

■販売元・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社  
〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号  
tel.087-834-1121 fax.087-834-0150

くわしくは

販売代理店